

28年8月分

製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年8月1日～ 28年8月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
8月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/8月	9月	10月
入荷動向	国産材製材品	△ 16.7	△ 8.3	0.0
	外材製材品	0.0	8.3	8.3
	その他	0.0	0.0	0.0
販売動向	国産材製材品	△ 16.7	△ 8.3	8.3
	外材製材品	△ 16.7	0.0	0.0
	その他	△ 12.5	0.0	0.0
在庫動向	国産材製材品	8.3	8.3	16.7
	外材製材品	8.3	25.0	16.7
	その他	12.5	12.5	12.5

・国産材製材品の入荷は8月、9月の減少が10月は横ばい。外材は8月の横ばいが、9月、10月はやや増加。その他は3ヵ月連続して横ばい。

・国産材製材品の販売は8月、9月の減少が10月はやや増加。外材及びその他は8月の減少が、9月、10月は横ばい。

・製品市場の在庫は3ヵ月連続して増加。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		28/8月	9月	10月
スギ	柱角 KD10.5×3	10.0	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	10.0	0.0	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	0.0	0.0
	母屋角	0.0	0.0	0.0
	タルキ	0.0	0.0	0.0
	間柱	0.0	0.0	0.0
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	0.0	0.0	0.0
	平割	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	0.0	10.0	10.0
	柱角 KD12×3	0.0	10.0	10.0
	土台角 10.5×4	10.0	10.0	10.0
	土台角 12×4	0.0	0.0	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
カラマツ土台角10.5×4	—	—	—	
米マツ平角	△ 10.0	△ 10.0	△ 10.0	
米マツ割物	△ 20.0	△ 10.0	△ 10.0	
北洋エゾマツタルキ	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	
北洋アカマツタルキ	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0	

・スギ製材品の価格は、柱角がやや強保合である他は3ヵ月連続して横ばい。

・ヒノキ製材品は、柱角が8月の横ばいが9月、10月はやや強含み。土台角10.5cm角はやや強含み。土台角12,5cm及び通し柱は3ヵ月連続して横ばい。

・米マツ平角及び割物はやや弱含みで推移。北洋エゾマツ及びアカマツのタルキは弱含みで推移。

モニターからのコメント

(荷動き)

- ・国産材・外材共に入荷順調。国産材・外材共にプレカット納入が多くなり（販売の）動き悪い。在庫は増加(関東)。
- ・9月の仕入れに向け入荷は控えている。販売は横ばい、国産材、外材共に単価が下落し、販売量が変わらずも販売単価下落で販売コストが上昇。在庫は9月以降増加の見通し(中部)。
- ・休みにより販売量減。素材減により入荷減(中部)。
- ・7月後半から販売量が減少、特にスギとWWの落ち込みが大きい(関西)。

(価格動向)

- ・スギ柱角 (KD10.5cm、12.0cm) 58,000円/m³、スギ桁角 (東北グリーン材) 40,000円/m³、母屋角 (東北材) 28,000円/m³、スギタルキ (東北材) 45,000円/m³、スギ間柱 (KD) 58,000円/m³、スギ加工板 (グリーン材) 東2,600円、(KD) 東4,800円、スギヌキ (東北) 40,000円/m³、(秋田) 48,000円/m³、スギ平割 (プレーナー) 45,000円/m³、同 (ラフ) 40,000/m³、ヒノキ柱角 (KD)・土台角 10.5cm 80,000円/m³、ヒノキ土台角12.0cm 80,000円/m³、米マツ平角 KD65,000円/m³、米マツ割物AD 65,000円/m³、北洋アカマツタルキ (アSEMBル単価) (S) 70,000円/m³、(P) 58,000円/m³、(バンドル単価) (S) 65,000円/m³、(P) 55,000円/m³(関東)。
- ・スギ柱角は需要が弱い(市場が狭い)。構造材の動きが遅く現状維持の見通し。天候不順等で産地側の出荷状況が悪化しない限り9月以降も大きな変動はなさそう。リフォーム等の仕事で、大規模な改修を伴わない工事は増加している。構造材以外の材料に関しては物量は堅調。販売価格の上昇の動きまでには至っていない。ヒノキは構造材は現状維持の見通し。産地側の供給の異変か政策による住宅意欲の持ち上がりがないと上昇の見込みは少ない。春先から米マツ全般にわたり価格が低調のまま、販売苦戦。エゾマツ・アカマツ自体の需要が減少し、価格水準が低くなった(中部)。
- ・スギ柱角は特に変わりなし。ヒノキ10.5cm角主体に品薄傾向(中部)。
- ・国産材は保合いが続く。外材もWWが値を下げたが他は保合状態(関西)。